



2021年11月8日

各位

会社名 ステラファーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 上原 幸樹
(コード番号：4888 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長兼総務部長 藤井 祐一
(TEL 06-4707-1516)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、本日開催の取締役会において、2021年5月10日に公表いたしました、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期の業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	223	△761	△773	△777	△27.68
今回修正予想（B）	123	△775	△827	△831	△29.60
増減額（B－A）	△100	△14	△54	△54	
増減率（％）	△44.8	△1.8	△7.0	△6.9	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	205	△680	△656	△659	△32.90

修正の理由

売上高に関しましては、当社製品の配送方法の変更に伴い、運送費の削減と医療機関へのタイムリーな納品が可能となった一方、医薬品卸売業者の保有在庫水準が減少し、変更後の在庫水準になるまで、当社への発注が一時的に減少いたしました。なお、2022年3月期中に在庫水準の調整は完了する見込みです。また、医療施設におけるBNCT実施症例数は前年と同水準であるものの、その症例数の当初予想と比較すると軟調に推移しており、売上高も当初予想を下回る見込みとなりました。BNCT実施症例数の推移につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、がん検診の受診者が減少していることや、緊急事態宣言が発出された中での医療施設への移動を躊躇される等の影響もあるものと考えております。なお、当社の業績指標であります当社製品の消費換算数量（累計）（注1）につきましては、当初予想では116箱を見込んでおりましたが、今回の業績予想の修正により、79箱を見込んでおります。（前年実績66箱）

損益面に関しましては、事業計画の進捗状況を再評価し、経費削減を推進したものの、上記の要因により売上総利益が減少したことで、当初予想を下回る見込みとなりました。

上記理由に加え、本日公表の「貸倒引当金繰入額（営業外費用）の計上に関するお知らせ」を加味し、業績予想の修正を行うものであります。

注1. 「消費換算数量（累計）」とは、医療施設で実施された BNCT 実施症例数に、当社が独自で算定しております1治療当たりの平均消費袋数を乗じて得た値を販売規格である箱数に換算して、BNCT 治療に使われた当社製品の出来高を推計したものであります。

注2. 上記の業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります

以 上